

中小企業あきた

1 平成23年度第3回理事会を開催	1
～知事懇談会への要望事項等を審議～	
2 秋田県へ要望書を提出!	2
3 全国中小企業団体中央会創立55周年記念式典を開催	2
○景況レポート9月分	3
○中小企業組合等支援施策情報	4
○組合相談コーナー	4
○話題の広場	
中央会事業より	5
アラカルト	6
新会員紹介	7
支援団体活動レポート	8
インフォメーション	9
第15回中小企業団体ゴルフ大会開催	10
組合ティールーム	10

11
NOVEMBER
2011

TOPICS 1

平成23年度 第3回理事会を開催

～知事懇談会への要望事項等を審議～



【理事会の様子】



【開催挨拶：塩田会長】

10月26日(水)、本会の平成23年度第3回理事会を、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において開催しました。開催にあたり塩田会長より、「県内景況は、やや回復の兆しを示しているが、円高が長引くことにより、先行きに不安がある。我々中小企業が元気ならないと地域経済が良くならない。中央会として、強い組合・企業づくりに向けた取り組みを実施していきたい。」との挨拶がありました。

引き続き、議案の審議が行われ、会員の加入・脱退が承認されたほか、上半期の事業遂行状況や平成24年度予算の要望、また、12月8日(木)に開催予定の知事懇談会の内容等について協議が行われました。

各役員からは、「中小企業への支援体制の整備・強化のための予算の確保」や「災害時における物資・燃料等の供給体制の構築」、「地産地消による地元食材の使用率向上」など、多くの意見が述べられました。

新春経営トップセミナー開催のご案内

本会主催の新春経営トップセミナーを次の日時に開催致します。組合の皆様
の多数のご参加をお待ちしております。

- テーマ 「どうなる日本～これからの中小企業の生き方～」
- 講師 須田 慎一郎(すだ しんいちろう) 氏
- 日時 平成24年1月30日(月) ・セミナー：午後3時～
・賀詞交歓会：午後5時～

○場所 秋田キャッスルホテル

○講師プロフィール

経済ジャーナリスト。1961年、東京生まれ。日本大学経済学部卒。経済紙の記者を経て、フリー・ジャーナリストに。数々の執筆活動の他、テレビ朝日「ワイドスクランブル」、「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「たかじんのそこまで言って委員会」他、テレビ、ラジオの報道番組等で活躍中。また、内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める(現職)など、政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発している。

※お申し込み等の詳細につきましては、次号でお知らせ致します。



TOPICS 2 秋田県へ要望書を提出!

10月25日(火)、本会の高橋専務理事と秋田県官公需受注対策協議会大門一平副会長が秋田県庁総務部を訪れ、佐々木総務部長に要望書を手渡しました。

また、10月31日(月)には、本会塩田会長と秋田県官公需受注対策協議会加藤憲成会長が秋田県庁建設交通部及び出納局を訪れ、富田建設交通部長及び斉藤出納局長にそれぞれ要望書を手渡すとともに、早期の実現に向けて積極的に取り組んで頂くよう要望しました。

要望書の概要は次のとおりです。



【要望内容を説明する高橋専務理事(右中央)】

1 高速道路ネットワークの早期整備並びに秋田港の整備促進

- (1)日本海沿岸東北自動車道及び東北中央自動車道未開通区間の早期事業化及び早期着工
- (2)間隔の離れているインターチェンジ間に新たなインターチェンジを設置するなど、高速道路と一般道路との連携強化
- (3)環日本海地域の国際物流拠点として、「日本海側拠点港」への選定と整備促進

2 県内企業を育成し地元雇用を促進するための地元中小企業者への優先発注

- (1)入札の参加資格については、秋田県内に本社を置いていることを要件とすること
- (2)国の基準を満たした「官公需適格組合」の積極的な活用
- (3)中小企業者の受注機会の増大のための措置を講じることについての、市町村への周知徹底

3 適正価格による発注及び分離・分割発注の推進

- (1)県が発注する工事について、「最低制限価格制度」の導入、或いは低入札価格調査制度の更なる厳格な運用による、ダンピング防止対策の強化
- (2)資材の需要動向や実勢価格をタイムリーに反映させた適正な積算価格による発注
- (3)地域経済を支える地元の中小企業者の更なる受注機会増大のための分離・分割発注の推進

4 印刷物の発注について

- (1)「最低制限価格制度」の導入
- (2)県内業者の選定と分離発注

TOPICS 3 全国中小企業団体中央会創立55周年 記念式典を開催

10月27日(木)、全国中小企業団体中央会(鶴田欣也会長)の創立55周年記念式典が、東京都の「ANA インターコンチネンタルホテル東京」で開催され、創立55周年を祝うとともに中央会が果たす役割と今後の発展を確認しました。

また、記念式典で行われた表彰式では、本会関係から次の3名の方が表彰されました。

受賞おめでとうございます

【役員関係】

【中央会専従者】

中小企業庁長官表彰

柳田 聰 氏

(秋田県主食集荷商業協同組合理事長)
(本会副会長)

経済産業大臣表彰

高橋 公悦

(本会事務局長)

中小企業庁長官表彰

佐藤 郁夫

(本会商業振興課課長)

景況レポート

(9月分・情報連絡員 80名)

製造業は衣・食・住を中心に売上が増加

【概況】9月の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが11.4%（前月調査5.0%）、「悪化」が35.4%（同41.3%）で、業界全体のDI値は-24.0となり、前月調査と比較して12.3ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-12.9で前月調査(-28.1)に比べ15.2ポイント上回った。また、非製造業全体は-31.2で前月調査(-41.7)と比較して10.5ポイント上回った。

衣料品は秋冬物製品の生産が最盛期となり、取引先にもよるが、忙しい月となった。また、大震災により建築を延期していた住宅が着工されるなど、製材品の需要も伸びている。なお、円高が長引いていることから、繊維製品は取引先が海外生産に移行することや、製材品では輸入材との価格競争等、先行きに不安を残している。

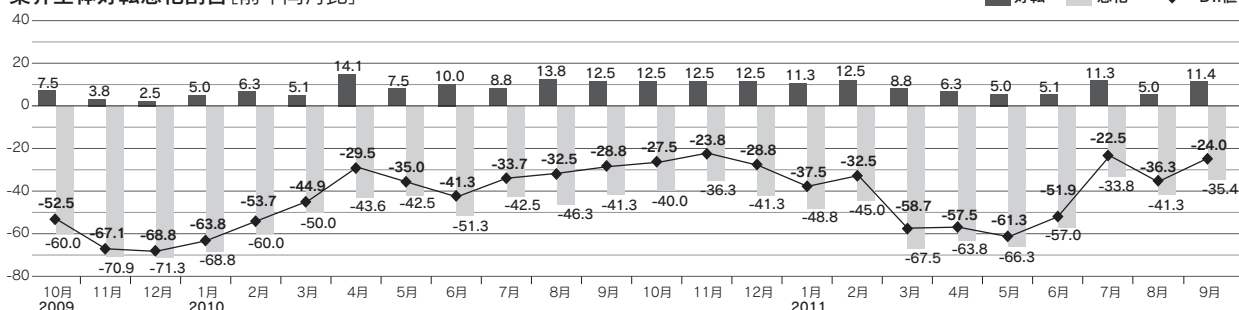
(回答数：79名 回答率：98.8%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業						
非製造業						

【凡例】
 快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 くもり △10以上 10未満
 雨 △30超 △10未満
 雷雨 △30以下
 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index（ティフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合〔前年同月比〕



業界の声

パン製造	9月に入り、気温が若干下がると同時に売上が上昇してきたが、結果は前年並に推移した。10月から業界3番手の大手が秋田県に正式に納入を開始するため、県内業者の売上がマイナスになることが懸念される。
清酒製造	8月の清酒出荷量は、前年同月比109.2%となった。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比113.3%、純米酒が117.1%、本醸造酒が96.7%、レギュラー酒が109.9%という状況である。
繊維製品	秋冬物の生産が終盤を迎え納期に追われる日が続いた。アパレルメーカーでは9月下旬の寒さから秋冬物が急に売れたようである。近年、気候の変化や休日に合わせた発注計画が、工場の生産計画を大きく左右している。今後、秋冬物が短納期で追加発注されるものと予想される。
一般製材	震災の影響で不足していた資材も出回り、ストップしていた工事が本格的に始まり大手プレカット工場やハウスメーカーはフルに稼働している模様。そのため、9月は注文が多く入ってきた。ただし、製品単価は厳しく、採算的には苦しい状況が続いている。
機械・金属	一部広域で受注できる所は好転している。ただし、地元はなく東京物件である。
再生資源卸	鉄の価格が下落している。さらに、9月に2回発生した台風により新車の入庫が予定どおりいかず、それに伴い、使用済み自動車の入庫が対前年比で30%ダウンした。
自動車販売	9月の新車販売台数は、登録自動車が2,427台(前年同月比115.4%)、軽自動車が1,823台(同92.5%)で、合計4,250台(同104.3%)であった。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり144円で前月比3円引き上げ、軽油1ℓ当たり126円で2円引き下げ、配達灯油は18ℓで1,668円と前月比21円の引き下げとなった。ガソリンの減販に加え、値崩れ現象も見られ苦戦している。
商店街	【秋田市】一般消費の買い控えと、集客力のある店舗の不足から依然厳しい状況にある。8月まで他物販店と比べ好調であった居酒屋、酒類小売店も9月に入って急激に売上減となった。 【大館市】夏場以降、9月に入っても客足の減退は続き、各店売り上げ確保に苦慮している。ポイントカード事業のイベントや個店での販促も行い対応を取っているが、目に見えた効果は無く、各店の企画力、販促力が問われている。
トラック運送	収穫期を迎えた新米は天候の不順により大幅に遅れている。なお、低迷していた前年同月対比では数量・収入とも10%増加となり、品目別では、自動車部品15%、自主米5%(前々年度米の販売が好調)それぞれ増加となった。一方、高速は中型車以上の無料化廃止により収益が圧迫されている。

中小企業組合等支援施策情報

■秋田労働局からのお知らせ

■秋田県の最低賃金が変わりました。

秋田県の最低賃金が現在の645円から2円引き上げられ、647円に変わりました。最低賃金は、県内の全ての労働者に適用されます。

【本件に関するお問い合わせ先】

秋田労働局労働基準部賃金室 ☎018-883-4266

発効日:平成23年10月30日

時給額:647円

■11月は、「労働時間適正化キャンペーン」期間です。

11月は、「労働時間適正化キャンペーン」期間です。本キャンペーンの平成23年度の重点取り組み事項は、次のとおりです。

- (1)時間外労働協定の適正化などによる時間外・休日労働の削減
- (2)長時間労働者への医師による面接指導など、労働者の健康管理に関する措置の徹底
- (3)労働時間の適正な把握の徹底

【本件に関するお問い合わせ先】 秋田労働局労働基準部監督課 ☎018-862-6682

全国中小企業団体中央会実施事業紹介

■中小企業団体トップセミナー in Fukushimaを開催

10月11日(火)、都道府県中央会会長並びに全国団体の代表者が集まり、福島県郡山市の磐梯熱海温泉「ホテル華の湯」において、「中小企業団体トップセミナー in Fukushima」が開催され、本会からは、塩田会長が出席しました。

本セミナーは、今回で、2回目の開催となり、本年は、被災地の復興支援の一環として、福島県下での開催となりました。

本セミナーへは、佐藤雄平福島県知事がご臨席され、中央会に対し、今後の復興への力強い協力を要請する旨の挨拶がありました。

引き続き、元NHKエグゼクティブアナウンサーの松平定知氏より、「歴史を本当に動かした戦国武将」と題して基調講演が行われました。

その後、都道府県中央会会長・全国団体代表者会議が開催され、鶴田会長より検討事項等に関する問題提起があり、組合・中央会の震災復興支援の方向性等について討議し、最後に、「宣言:『組合 絆 ルネサンス～3万5千組合の絆の力で復興を～』」をとりまとめ、盛会かつ有意義なセミナーを閉会しました。



【都道府県中央会会長・全国団体代表者会議の様子】

組合相談コーナー 顧問・相談役・参与について

Q 永年組合の発展に貢献された理事長が交代し、理事からも退くことになりましたが、理事会では、その功績を讃えるとともに、組合が必要とする時は、いつでも助言等を求めることのできる地位に置きたいと考えています。組合に、「顧問・相談役・参与」を置くことはできますか。

A 組合に、「顧問・相談役・参与」を置くことは可能です。なお、「顧問」については、下記のとおり中小企業等協同組合法第43条に規定されています。

第43条(顧問)

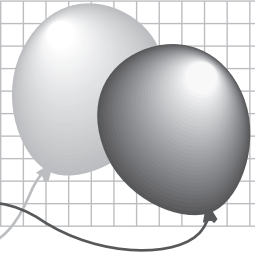
組合は、理事会の決議により、学識経験のある者を顧問とし、常時組合の重要事項に関し助言を求めることができる。但し、顧問は、組合を代表することはできない。

顧問・相談役・参与をどのように区別するかについては、必ずしも明確なものはありませんが、これらの役職の一応の基準としては、次のようなことが考えられます。

- ・「顧問」は、組合員外の人物であり、組合の事業活動を進めていく上で高い視点からの助言ができる人物。
- ・「相談役」は、永年組合及び当該業界の中であって中心的役割を果たしてきた人物であり、組合の運営及び当該業界の問題について、豊富な経験に基づき適切な助言ができる人物。
- ・「参与」は、永年組合事務局の職務に携わってきた人物で、組合の実務に明るく、組合運営について実務的側面から意見を述べるることができる人物。

なお、顧問・相談役・参与等を置く場合は、委嘱規定を定めるなど、基準をある程度明確にし、委嘱については、理事会で決定する必要がありますのでご注意ください。

話題の広場



中央会事業より

第1回高齢化社会対応懇談会を開催

10月6日(木)、秋田市「秋田キャッスルホテル」において、「第1回高齢化社会対応懇談会」を開催しました。

当事業は、急速に進む高齢化社会の中で、昔ながらの“御用聞き”を新しいビジネスとして見直し、“買い物弱者”に対する買い物の利便性の向上や高齢者の生活の安全を守る等、地域ぐるみ或いは異業種の組合の連携により支えていく新たな複合型ビジネスの可能性を模索することを目的としています。

懇談会の前段では、講師の明治大学専門職大学院教授上原征彦氏から「高齢化社会に適応した複合型サービスの在り方について～連携による高齢者支援の方策～」をテーマに講演が行われました。

引き続き、出席者を交え、複合型ビジネスモデルの形を模索する上で、各業界組合で想定される販売・サービスの内容を中心に懇談を行い、有意義な意見交換が行われました。



【高齢者懇談会の様子】

第2回ポイントカード懇談会を開催!

10月18日(火)、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において、「第2回ポイントカード懇談会」を開催しました。

懇談会の前段では、東北ジャイロ流通研究所小柳剛照所長から、「効果的なポイントカード事業の取り組みについて～一番の基本は個店のレベルアップ～」をテーマに講演が行われました。

引き続き行われた懇談では、県内のポイントカード組合の今後の事業の方向性や広域的連携の在り方について、参加者同士の活発な意見交換が行われました。



【ポイントカード懇談会の様子】

○県内ポイントカード先進事例紹介

『鹿角市と連携し「わくわく健康ポイント事業」を実施』

ハミングカード協同組合・コナンカード協同組合

鹿角市のハミングカード協同組合(星川由則理事長)及びコナンカード協同組合(黒沢光春理事長)では、鹿角市の「わくわく健康ポイント事業」と連携し、市が行っている各種検診の受診者や健康講座の参加者にポイントを付与する取り組みを実施しています。

ポイントの加算は、市へ端末を貸出し、健康講座等の各会場で行う他に、ポイント引換券により、加盟店で加算手続きができ、利用者の利便性の向上を図っています。

当事業開始から現在までの利用実績は、ハミングカードが4,000件、コナンカードが1,700件となっており、利用者の関心が非常に高いことが伺えます。



キララハミングカード(左)とコナンカード(右)

■地方自治体3市1町1村と災害協定を締結

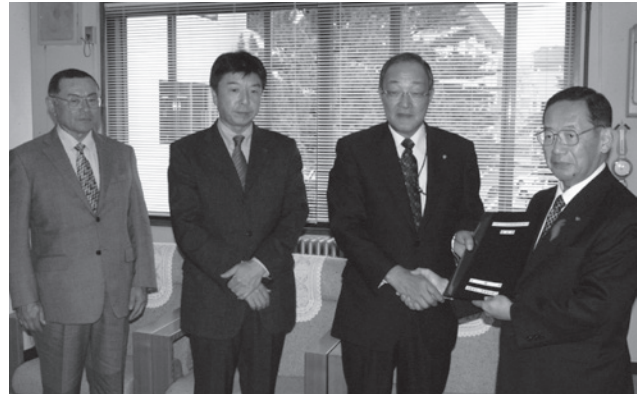
【北鹿電気工事業協同組合】

北鹿電気工事業協同組合(川井隆治理事長)では、大館市、北秋田市、鹿角市、小坂町、上小阿仁村の3市1町1村と「災害時における電気設備等復旧応援に関する協定書」を締結しました。

災害時における電気設備等復旧の協定は、地震、風水害等により、当該自治体内で電気設備等の被害が発生した場合、円滑かつ迅速な応急電気供給及び応急復旧活動を行うことを目的としています。

協定の内容は以下のとおりです。

- ①被災状況の調査報告
- ②避難場所等での応急電気供給等に必要な人員の派遣
- ③被災を受けた電気設備等の応急復旧に必要な人員の派遣
- ④応急復旧に必要な車両、資機材及び物資等の提供
- ①～④の他、自治体が特に必要であると認める協力



協定を締結した川井理事長(右から2人目)と小畑大館市長(右)、西村専務理事(左から2人目)、藤原理事(左)

■全国まるごとうどんエキスポ in 秋田・湯沢を開催

【秋田県稲庭うどん協同組合・湯沢市4商店街】

10月1日(土)、2日(日)の2日間に亘り、湯沢市の大町商店街・柳町商店街・駅通り商店街・中央通り商店街を会場に、「全国まるごとうどんエキスポin秋田・湯沢」が開催されました。

当イベントは、秋田県稲庭うどん協同組合(佐藤正明理事長)をはじめ湯沢市4商店街がメンバーとして参加した「全国まるごとうどんEXPO実行委員会」が主催しました。

イベントの実施は、湯沢市が日本三大うどんの一つの「稲庭うどん」の地元であり、稲庭うどんのブランド力を活かして湯沢地域の経済的な活力増進を図るとともに、日本各地のうどん文化の活性化に繋げようと企画されました。

当日は、日本三銘うどんの「稲庭うどん(秋田県)」、「名古屋きしめん(愛知県)」、「讃岐うどん(香川県)」を含む、全国各地の全9銘品が一堂に会し、商店街が「まるごとうどん大通り」となりました。うどんを販売するブースでは、最長で2時間以上待つブースもあり、各販売ブースには、長蛇の列ができました。

また、「まるごとうどん大通り」の他、湯沢市の特産品や名物、地元農産加工品や工芸品を販売・展示した「まるごと湯沢ストリート」やお酒と路上パフォーマンスが楽しめる「湯沢良いところ、ほろ酔いまつり」、地元の飲食店が工夫した「オリジナルうどんメニューの販売」が行われるなど、会場は、大いに盛り上がりました。



【全国まるごとうどんエキスポの様子】

新会員紹介

■設計チームおおだて協同組合



島山理事長

【組合の紹介・PR】 建築設計・工事監理業務の安定的な受注確保には、官公需の受注が大きな柱となります。しかし、公共建築物等については主要ニーズの高度化に伴い、高い技術水準が必要な建物の発注が主流となり、我々小規模事業者に対しても高度な技術力が要求され、個々で対応することが難しくなっています。

また、建築設計等の発注については、工事規模に応じて複数名が参画した協同組織に工事発注を依頼する傾向が強くなってきています。

本組合は、官公需受注確保のため、事業協同組合により組織化を図り、公共事業等における受注体制を、より強力にするため設立しました。

◆住所	大館市川口字隼人岱68番地1
◆代表理事	島山 富美男
◆出資金	1,000,000円
◆組合員数	4名
◆主な事業	建築物の設計・工事監理の共同受注
◆成立年月日	平成23年9月20日

■秋田県柔道整復師協同組合



佐藤理事長

【組合の紹介・PR】 近年、医療技術の急速な進歩・発展に伴い、医療業務に対する国民の要請は多様化し、より高度かつ良質な医療を求める傾向にあります。

反面、同業種・他団体の会員や類似業種等との過当競争による施術所経営の圧迫、保険行政の改革等、当業界を取り巻く環境は甚だ厳しいものがあります。

このような現状の中で、時代に適応した近代的施術所経営を行うべく、最新の治療設備、自主的な研修に基づく良質な治療技術等の提供が、地域社会及び地域住民から求められています。

本組合は、社団法人秋田県柔道整復師会との連携により、会員への購買部門及びサービス部門に関する経済事業を実施し、事業協同組合が受け皿となり充実させることにより、会員の経営改善及び経済的地位の向上に資することを目的として設立しました。

◆住所	秋田市山王中島町3番1号
◆代表理事	佐藤 環
◆出資金	4,816,000円
◆組合員数	175名
◆主な事業	組合員の取り扱う資料資材及び消耗品の共同購買
◆成立年月日	平成23年10月13日

■毛馬内こもせ商店街協同組合



勝田理事長

【組合の紹介・PR】 私共は、これまでも、毛馬内BON通り商店会を組織し、各会員が相互に協力し合い各種イベントの開催、街の駅「こもせ」の運営、駐車場及び街路灯の維持管理等を行ってきました。また、全国的に近代化した画一的な商店街が増加した中で、市民の財産として「こもせ」の保存を続け、歴史的にも貴重な街並みを維持しています。

この度、鹿角市をはじめとした関係機関からの指導及び助成を受けながら、「こもせ」を修復し、貴重な街並みの保存を通じて地域コミュニティの担い手としての活動を強化していくためにも、地域商店街活性化法の認定

を目指し地域住民と一体となった取り組みを行うことに致しました。

今後、各種事業を、より効果的に展開し、魅力ある商店街を目指すには、これまで以上に強固な組織の構築が必要であることから、既存の商店会を法人化し事業協同組合を設立しました。

◆住所	鹿角市十和田毛馬内字毛馬内9番地
◆代表理事	勝田 士郎
◆出資金	170,000円
◆組合員数	23名
◆主な事業	商店街の整備に関する計画の策定及び調査研究事業
◆成立年月日	平成23年10月17日

【今月のキーワード】 『こもせ』とは？

「こもせ」は、鹿角の方言で、雁木(がんぎ)のことです。雁木は、現在の商店街等に設置されているアーケードのような構造物で、店舗の軒先が道路側に競り出ており、雪国では、雪よけとして、冬に雪の心配をせずに人々が通れるように店舗に建築されていました。

秋田県では、鹿角市毛馬内の「毛馬内こもせ商店街」や花輪の「関善こもせ」が保存されています。

支援団体活動レポート

平成23年度第1回官公需対策懇談会を開催 ～秋田県官公需受注対策協議会～

9月28日(水)、秋田県官公需受注対策協議会(加藤憲成会長)の「平成23年度第1回官公需対策懇談会」が、本会との共催により、秋田市「アキタパークホテル」において、開催されました。

懇談会では、発注者側からの情報提供として、県担当者から「平成23年度の秋田県の官公需の発注状況について」の説明があり、その後、意見交換に入りました。

意見交換では、県や市町村発注機関に対する要望が協議され、今後、本懇談会で出された要望事項について、本会との連名で県や市町村に対し要望活動を行うことが決定されました。



【懇談会の様子】

中野節秋田県副知事による講習会を開催 ～秋田県中小企業青年中央会～

10月12日(水)、秋田県中小企業青年中央会(進藤政弘会長)の、「中野節秋田県副知事による講習会」が秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において開催されました。

講習会では、中野節秋田県副知事を講師に、「秋田県産業の現状と活性化に向けての提言」をテーマとした講話が行われました。中野節秋田県副知事は、「秋田県を高齢化先進県として産業・社会構造の変革(秋田モデル)を目指す。そのため、農業、自然、勤勉を基盤とする持続可能な地域社会へ挑戦していく必要があり、民間の活力が重要である。」と話され、出席者一同熱心に聴講しました。

その後、意見交換が行われ、活発な協議が行われました。



【講習会の様子】

第28回東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会研修交流会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～



【開催県挨拶：堀川会長】

10月14日(金)、仙北市の「たざわこ芸術村」において、「第28回東北・北海道ブロック中小企業組合士協議会研修交流会」が開催されました。今回は、秋田県が幹事県として開催し、秋田県の組合士22名を含む、東北・北海道から63名の組合士の会員が参加しました。

研修交流会は、わらび座劇場での観劇に引き続き、株式会社わらび座代表取締役小島克昭氏から「地域活性化と地域に根ざした組織活動とは～創立60周年を迎えて～」をテーマとした基調講演が行われました。

研修交流会終了後は、懇親会が行われ、わらび座による「秋田音頭」のアトラクションが登場するなど、終始和やかな雰囲気の中で会員同士の交流が深められました。



【研修交流会の様子】

「夫婦あきたこまちご飯茶碗」が本会会長賞を受賞

10月7日(金)、第31回秋田県特産品開発コンクール表彰式が秋田市の「アトリオン」で行われ、湯沢市の加藤實漆器店(加藤幸男代表)の「夫婦あきたこまちご飯茶碗」が奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)を受賞しました。

本商品は、狂いが生じやすい柎の木を薄焼きにし、花塗でも一番美しい本溜塗で内側を朱、黒に仕上げました。

お買い求めは、アトリオン地下1階「あきた県産品プラザ(株式会社秋田県物産振興会)」で購入できます。(8,400円(税込))

【お問い合わせ先】

加藤實漆器店 〒012-0105 湯沢市川連町字大館下村43-1 ☎0183-42-4473
ホームページ <http://www.urushi-kato.com/>



【本会会長賞：夫婦あきたこまちご飯茶碗】

あきた農商工応援ファンド事業対象事業者の募集について

(財)あきた企業活性化センターでは、中小企業者と農林漁業者等が一体となり、互いに有するノウハウや技術を活用し、県産農林水産物を核とした新商品開発やその販路開拓などの取組を支援し、地域の活性化を図るため、「あきた農商工応援ファンド事業」の対象事業者を募集します。

○補助対象事業

①農商工連携支援事業

中小企業者と農林漁業者の連携体による新商品開発、販路開拓に助成します。

②農商工連携応援団体支援事業

農商工連携により開発された新商品の販路開拓を応援する団体に助成します。

○募集期間 平成23年11月1日(火)～平成23年12月13日(火)

○事業に関するお問い合わせ先

(財)あきた企業活性化センター

経営革新担当 ☎018-860-5701

総合相談担当 ☎018-860-5610

強い組合・強い企業づくり

「11月は、連携組織強化月間です」

本会では、組合をはじめとする中小企業連携組織に対して、その設立から事業運営まで、さまざまな支援を行っています。

特に、毎年11月を連携組織強化月間と位置づけ、11月1日～30日まで「特別相談窓口」を設置します。中小企業組織の設立・運営についてのご相談は、是非本会へお問い合わせ下さい。

○お問い合わせ先

本部事業振興部:〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47

☎018-863-8701

大館支所:〒017-0044 大館市御成町二丁目8番14号

☎0186-43-1644

横手支所:〒013-0021 横手市大町7番18号

☎0182-32-0891

第15回 中小企業団体ゴルフ大会開催



【優勝者東海林正博氏】

第15回中小企業団体ゴルフ大会を、10月5日(水)に、秋田市の「秋田椿台カントリークラブ」において開催しました。

本大会は、本会会員並びに関係機関相互の交流促進を目的に開催しており、当日は、天候にも恵まれ、全県から集まった44名の参加者が自慢の腕を競い合いました。

今年も多くの組合及び企業から協賛を頂き、プレーの結果、協同組合秋田印刷センターの東海林正博常務理事(株式会社東海林印刷代表取締役)が、ネット71.0で優勝しました。

また、プレー終了後の表彰式では、参加者同士がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。

【結果】	優勝	東海林 正 博氏(協同組合秋田印刷センター)
	準優勝	大 嶋 秀 夫氏(秋田県葬祭業協同組合)
	第3位	森 田 真 澄氏(男鹿南秋生コンクリート協同組合)
	B G賞	森 田 真 澄氏 ベストグロス79(41、38)



組合ティールーム

秋建協同組合

理事長 加藤 憲 成 さん

◎理事長としての抱負について

当組合は、現在、生コンクリートの共同購買事業を実施していますが、過去には、建設機械の貸出事業や鉄筋等の建設資材全般について共同購買事業を実施していました。

しかし、業態や流通の変化など世の中の流れに伴い、組合事業は、減少傾向にあります。

そのような状況の中でも、組合員の世代交代が進み、新たな取り組みに向けての体制が整っていることから、組合員と意見を出し合い、組合としてできることを模索していきます。まず、手始めとして、他県の組合との交流を考えています。

◎業界からの要望について

東日本大震災後、太平洋側の復旧・復興に国の予算が重点配分されていますが、日本海側についても予算配分し、東北が一体となった整備が促進されるよう望みます。また、道路・構築物の整備については、地方にあった規模や方法で施工できる仕組みを望みます。

◎心掛けていることについて

いつも心掛けていることは、「何にでも積極的にチャレンジすること・何でも試してみること」です。思い浮かんだことは、まずやってみる。やってみてダメなら、他のことを考えるというように、次の展開に向けたことを常に考えています。

◎趣味について

心掛けていることと同じで、何でもやります。その中でも、特に、最近、家庭菜園に凝っています。菜園では、一般的な野菜から珍しい種類の野菜まで、幅広く栽培しています。今年の夏は、ゴーヤカーテンならぬミニメロン・ミニスイカカーテンを作りました。



官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 宮崎真吾
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



トワニー秋田
通商産業大臣認可50産第1784号
全日本葬祭業協同組合連合会加盟

秋田県葬祭業協同組合

〒014-0001 大仙市花館字常保寺91-3

TEL 0187-86-3530 FAX 0187-86-3531

ホームページ <http://www.towany.com>

葬祭・仏壇・仏具のご用命は
組合加盟店へどうぞ

秋田流通サービス事業協同組合

(株)出羽運輸	里見運送(有)	合資会社塩喜運送
秋田第一貨物自動車(株)	千歳運送(有)	(有)丸橋運輸
六郷小型貨物自動車運送(株)	(株)秋田おぼこ運輸	姉崎商運(株)
(株)三ウラ産業	(株)仙建	豊幸商事運輸(有)
日通横手運輸(株)	(有)藤原運送	横手運送(株)
大曲小型貨物自動車運送(株)	角間川運送(株)	田沢湖運送(株)
十文字運送(株)	エコー運輸(株)	湯沢運送(株)
川連運送(株)	(株)岡部興業	(有)北國急行

※順不同

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299



東北オンリーワンの総物流サービス企業

YOKOUN
横手運送株式会社

経営理念：総物流事業を通じて地域社会に貢献します

☎013-0072 秋田県横手市卸町8番14号 TEL.0182-32-3667 FAX.0182-32-5672
<http://www.yokoun.co.jp/>

麺のある
多様な食文化の橋渡し役



ヤマヨ 株式会社

〒010-0917 秋田市泉中央一丁目3-56
TEL.018(863)5344 FAX.018(824)3474



“企業の挑戦を応援します”

株式会社 北日本リース

考えてみませんか？経営の次にあるもの…
設備資金・生命保険・損害保険・資産形成・相続・事業承継等
ご相談をお気軽にどうぞ!!

秋田市高陽幸町8-17 TEL 018 (883) 1888

FAX 018 (883) 1822

E-mail : njl@cna.ne.jp

ホームページ : <http://www.njl.jp/>

クボタ
美しい日本をつくらう。

農業機械のことならクボタにおまかせ下さい。



クボタパワクロトラクタ



クボタ乗用田植機



クボタコンバイン

まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38

Tel:018-845-2121 Fax:018-845-6600

フアン
待望の
一冊!!



秋田春夏秋冬こぼれ話
文◎小西一三 絵◎小西由紀子

カッパンプラン文庫



秋田春夏秋冬こぼれ話
A5判
本文180頁
定価 **1,800円** (税込)
カッパンプラン文庫

秋田県の全戸配布広報紙「あきた新時代」に、96回にわたって連載されたコラム、「春夏秋冬こぼれ話」。秋田の「風物」「特産」「手仕事」「伝統」などを守り育ててきた地域の人々をいきいきと綴った、小西夫妻の傑作。「毎月楽しみで、いつも一番先に読みます」「暖かい絵と文が大好きで、切り取って保存しています」「ぜひ一冊の本にまとめてください」といった沢山の声にお応えしての待望の書籍化です。

お問い合わせ◎秋田活版印刷株式会社
〒011-0901 秋田市寺内字三千判110-1 TEL.018-888-3500
E-mail:info@kappan.co.jp

県内有名書店にて
絶賛発売中!!

2011
11
Nov

中小企業あきた
平成23年11月1日発行（毎月1日発行）第618号
発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎018-863-8701 FAX 018-865-1009 印刷/秋田活版印刷(株) 定価280円